記者発表資料

平成２２年１２月　３日
森吉山ダム工事事務所

森吉山ダムの試験湛水　最高水位まもなく！

最高水位到達予定は１２月６日～７日頃の見込みです

森吉山ダムでは、平成２２年１月２０日より試験湛水を行っておりますが、計画している最高水位への到達が目前となってきました。

このまま計画どおり水位が上昇すれば、森吉山ダムの計画している最高水位である標高１７７．２ｍには、１２月６日～７日頃に到達する見込みです。

※天候によって最高水位到達日は６日～７日を前後する場合があります。

記

最高水位到達後は、各種調査によるデータ収集を継続するため、概ね２４時間貯水位を最高水位付近で維持させます。

その後は、計画的に水位を低下させ、平成２３年１月下旬までに、計画上の最低水位（標高１４３．２ｍ）まで水位を低下させて、試験湛水を終了する予定です。

水位低下の期間は、ダムの下流河川では、普段より河川の流量が多くなりますので、注意してください。



１２月３日　９時現在の森吉山ダムの状況は、貯水位標高１７４．２１ｍで水深が８０．２１ｍ、ダムに貯まっている貯水量は５，６９４万立方メートルで、計画の８４％になっています。

最高水位にあと２．９９ｍまで近づいています。

※　なお、本件につきましては秋田県政記者会、北秋田記者クラブ、大館市記者クラブにも同時にお知らせしております。

問い合わせ先　　国土交通省東北地方整備局　森吉山ダム工事事務所
副　所　長　　菊地　　厚　（内線２０４）
調査・品質確保課長　　船木　純孝（内線３５１）
ＴＥＬ　０１８６－７２－３０１５

別紙　お知らせ

・最高水位到達時、特に森吉山ダムについて説明を希望する方々は時間を決めて現場を案内します。

受　　付　：広報館
見学時間　：６日１３時から１５時まで　１時間毎
　　７日　９時から１２時まで　１時間毎 実施予定

